

〈講師の先生からのメッセージ〉

令和5年5月、厚生労働省は第三次健康日本21を発表し、その中で“ライフコースアプローチ”を掲げました。これは人生のライフステージを各段階で区切るのではなく“生涯切れ目のない健康づくり対策を行っていく”ことを目指すものであり、歯科医療においては“生涯を通じて噛める健康を提供していく”ことが重要な役割を担うようになりました。また、今年4月の歯科保険点数改正においても、ライフコースの取り組みが導入され、歯科技工士に関連する保険点数項目も多く盛り込まれています。これまでの完結型治療から、健康の回復・改善、そして予防を目指す医療へと確実にシフトしてきており、まさに歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の三位一体での取り組みが求められていると言えるでしょう。

しかしながら、歯科衛生士が歯科医師とともに日々歯科医療に携わっているという実感がある一方で、歯科技工士は「歯科技工は医療なのか？」という問いに対し、なかなか「Yes!」と答えることができないのが現状ではないでしょうか。チーム医療が求められているにもかかわらず、歯科技工士は患者に接する機会が少ないため、医療人としての自覚に乏しくなりがちで、医療貢献を実感することが難しいという実情もあります。歯科技工士が医療の一員として存在感を高めるためには、歯科医療の仕組みの理解、患者像の把握、歯周病に関する知識などが求められるようになります。また、CAD/CAMやIOSなどのデジタル技術が普及している現状において、歯科衛生士と歯科技工士間の情報共有が重要な課題となっています。本講演では、ダブルライセンスの臨床経験から、歯科技工士と歯科衛生士の視点の違いを問題提起するとともに、すでに始動している高度専門歯科技工士や専門歯科衛生士の取り組みなどを踏まえ、これからの歯科技工士、歯科衛生士の可能性と展望について述べたいと思います

* 小林明子先生のプロフィール *

- 1977年 東京歯科技工専門学校卒業
1982～2013年 東京歯科技工専門学校講師～
1990年 小林歯科医院勤務
1997年 日本医学院歯科衛生士専門学校卒業
2009年 人間総合科学大学人間科学科卒業
2010～2019年 東京医科歯科大学附属歯科技工士専門学校、
口腔工保険学科口腔保健工学専攻科非常勤講師
2012年～ 小林歯科医院副院長
2019年～ 新宿医療専門学校歯科衛生学科非常勤講師
2020年～ 東京歯科短期大学歯科衛生学科非常勤講師



- 所属学会 日本歯周病学会（認定歯科衛生士取得）
日本口腔インプラント学会（認定インプラント専門歯科衛生士取得）
日本歯科審美学会（認定士取得）
日本臨床歯周病学会（認定指導歯科衛生士取得）
日本顎咬合学会（認定指導歯科衛生士取得）
日本小児歯科学会、老年歯科医学会、
日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、

著書

* 補綴物を考えたPMT C

歯科衛生士 Vol.26 No9 2000 クインテッセンス出版

* [力の見所・見せ所]

歯科衛生士 Vol.28 No1～No3 2005 クインテッセンス出版

* デンタルハイジーン別冊 歯と口腔のビジュアルガイド

編集共著 2007/11/20 発行 医歯薬出版

* 歯科衛生士別冊

初めてチェアサイドに立つときに役立つ歯周治療独習ノート

（患者さんの前で戸惑わない為の14ステップ）

監修執筆 2010/5/10 第1版第1刷発行 クインテッセンス出版

* やさしくわかる 歯と口腔のビジュアルガイド 共著編集

編集共著 2019/11/20 発行 医歯薬出版